

ふらっと高専

みなさんにとって「居心地のよい社会」とはどんな社会でしょうか。今まであたりまえとっていたことがらを「本当にそうなの？」と問い直すことができますか。少数派（マイノリティ）の意見について考えたことがありますか。

本校は人権教育年間計画「ふらっと高専」を定め、さまざまな視点から人権について考え、多様性を認め合える人材を育てます。

H30年度人権教育年間計画「ふらっと高専」

凡例: ■ 課題
■ フィールドワーク
■ 弁護士による講演会

学年	テーマ	目的	
		前期	後期
1年生	身近な差別への気づき	無意識からの脱却	
		5/17 課題1	11/21 インターネットと法律
2年生	多様性への理解	一般常識を問う	
		12/19 両性間の法律問題	1/30 課題2
3年生	声をあげる権利	制度理解から活用へ	
		7/25 課題3	8/18 フィールドワーク (希望者) 1/23 労働問題
4年生	環境づくり	ふらっとな視点へ	
		5/16 課題4	中止(地震) 6/30 フィールドワーク (希望者)
5年生	社会人となる準備	理論知から実践知へ	
		8/7 課題5	9/29 フィールドワーク (希望者)
	日程	課題の内容	講演 / フィールドワークの内容
課題1	5/17~18 宿泊オリテ 講演	ふらっと高専の説明	人権についての基本的な理解
課題2	1月30日 HR 講演	生き方の選択肢を広げる	身近な常識を問う (ジェンダー、国籍、身分など)
課題3	7月25日 HR 講演	障がい者の抱える生活困難と使いにくい制度	障がい者の生活について考える
課題4	5月16日 HR 講演	様々な立場からカミングアウトできる関係づくり	外国にルーツを持つ人々、ジェンダーなどの課題を考える
課題5	8月7日 前期末試験最終日 講演	現場から人権を考える	困窮した状況下の生活を支援する活動を学ぶ

弁護士による講演会

<講演会>

対象：1年生～3年生

日時：1年生 2018年11月21日(水) 14:50～15:35

2年生 2018年12月19日(水) 14:50～15:35

3年生 2019年01月23日(水) 14:50～15:35

講師：大阪弁護士会

課題・内容：1年生は「インターネットと法律」、2年生は「両性間の法律問題」、3年生は「労働問題」をテーマに、大阪弁護士会の方々にご講演頂きました。



ふらっと高専1「身近な差別への気づき ～無意識からの脱却～」

<講演会>

課題：ふらっと高専の説明 ～人権についての基本的な理解～

対象：1年生

日時：2018年5月17日（木）13:30～14:30 ＊宿泊オリエンテーション期間(5/17-18)に実施

場所：青少年海洋センター

講師：中田裕一（本校 学生担当副校長）

内容：今まで当たり前と思っていたことから「本当にそうなの？」と問い直すことができるか、少数者（マイノリティ）の意見について考えたことがあるか、といった問いかけを行うとともに、様々な視点から人権について考え、多様性を認め合える人になってもらいたいといった「ふらっと高専」の目的を分かりやすく説明しました。



ふらっと高専2「多様性への理解 ～一般常識を問う～」

<講演会>

課題：生き方の選択肢を広げる ～身近な常識を問う（ジェンダー、国籍、身分など）～

対象：2年生

日時：2019年1月30日（水）14:50～15:35

場所：図書館2階 視聴覚大ホール

講師：東 優子（大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類／教授）

内容：『THINK OUT OF THE BOX 生き方の選択を広げるために、身近な常識をうたがってみよう』と題し、LGBTなどの性的マイノリティが抱える課題を、トイレ問題や女性専用車両などの身近な話題を通して分かりやすくご説明頂きました。



ふらっと高専3「声をあげる権利 ～制度理解から活用へ～」

<講演会>

課題：障がい者の抱える生活困難と使いにくい制度 ～障がい者の生活について考える～

対象：3年生

日時：2018年7月25日（火）14:50～15:35

場所：図書館2階 視聴覚大ホール

講師：武田雅代（株式会社 オールケアライフ／オールケア寝屋川）

内容：障がいのある方々の生活について考えるために、講演では写真を多く交えながら、障がい者施設の利用者の生活にスポットを当てた支援内容の紹介や、利用者の外出行動に関する事例などを挙げながら、利用者の方々が抱える生活困難などを分かりやすく説明して頂きました。



<フィールドワーク>

対象：3年生

日時：2018年8月18日（土）13:00～15:00

場所：オールケア守口（守口市）

講師：吉田広美（株式会社 オールケアライフ／オールケア守口）

内容：フィールドワークではケア施設の簡単な説明の後に、障がい者の方との触れ合いを通じてどのような支援が必要であるかといったことを考えました。フィールドワーク後にブレインストーミング（討論）し、スタッフの方々とともに、体験を振り返りました。



ふらっと高専 4「環境づくり ～ふらっとな視点へ～」

<講演会>

課題：様々な立場からミングアウトできる関係づくり ～外国人にルーツを持つ人々、ジェンダーなどの課題を考える～

対象：4年生

日時：2018年5月16日（水）14:50～15:35

場所：図書館2階 視聴覚大ホール

講師：片田孫朝日（灘高等学校／教諭，神戸定住外国人支援センター／理事）

内容：外国にルーツをもつ当事者であり支援活動にも関わっておられる経験をふまえ、「朝鮮人移民の祖父母をもつ一人として」と題して、どのようにすればカミングアウトしやすい人間関係や社会が築けるのかということをお話して頂きました。学生たちがマイノリティの立場を理解し、偏見なく付き合っていけることを目的とした講演の内容でした。



<フィールドワーク>

対象：4年生

日時：2018年6月30日（土）＊地震災害の影響を配慮し中止

場所：公益財団法人 とよなか国際交流協会

講師：山本房代（公益財団法人 とよなか国際交流協会）

内容：「環境づくり」というテーマで、「様々な立場からカミングアウトできる関係づくり」という目的に沿った「外国にルーツをもつ人々の暮らしや価値観などについて、現場で具体的に学ぶ」ためのフィールドワークを計画していました。しかしながら、6月18日に発生した地震の余震等が懸念されたため、フィールドワークは中止となりました。

ふらっと高専5「社会人となる準備 ～理論知から実践知へ～」

<講演会>

対象：5年生

課題：現場から人権を考える ～困窮した状況下の生活を支援する活動を学ぶ～

日時：2018年8月7日（火）10:10～11:10

場所：図書館2階 視聴覚大ホール

講師：住田一郎（社会福祉法人 釜ヶ崎ストロームの家）

内容：講演では図やグラフを多く交えながら、経済的な困窮状態に陥ったり働けなくなったりした人や、様々な事情で就労が難しい方を例に挙げ、「なぜ支援を必要とする人が社会の中で生じるのか」「なぜ支援するのか」ということを教えていただき、生活に困窮している方々の現状と支援について分かりやすく説明して頂きました。



<フィールドワーク>

対象：5年生

日時：2018年9月29日（土）10:15～12:15

場所：西成区・あいりん地区（大阪市）

講師：住田一郎（社会福祉法人 釜ヶ崎ストロームの家）

内容：フィールドワークでは、経済的な困窮状態に陥ったり働けなくなったりした人や、様々な事情で就労が難しい人の現状や支援の様子について現地で説明を受け、本当に必要な支援のあり方や課題について具体的に教えて頂きました。

